

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

敬老年金の申請について

満八十五歳になると、年額三千六百元の敬老年金が支給されます。

しかし、この年金は、本人から申請がなければ支給されませんので、満八十五歳になつた人は忘れず役場民生課に申請して下さい。

昭和45年度 一般会計予算決まる 総額四億一千六万五千元

昭和四十五年度の金木町一般会計当初予算が決まりました。予算総額は四億一千六万五千元で、前年度当初予算にくらべると五千七百七十八千円の増、最終予算にくらべると四千二百三十一万九千円の減となっています。

予算の款ごとの金額は別表のとおりです。また、歳出の主なものを紹介するにつぎのとおりです。

総務費…防災行政無線設置負担金五十三万九千円、金木病院組合負担金四百八十万円、庁舎建築費(第一次支払分)六千七百七十三円
民生費…老人クラブ補助百四十五万円、精薄児施設負担金四十万七千円、季節保育所費三十一万八千円
衛生費…予防費百七十八万五千円、妊産婦及び乳児のミルク、腹
農林水産費…金木町土地改良区助成二百五十万円、農業共済組合併助成百万円、乾燥機補助二百五十万円、農業構造改善事業費七百三十一万四千円、国土調査事業費二百四十八万円
商工費…商工会補助八十万円、信用保証協会出資金五百万円、観光事業費五十万円、職業訓練所増築費五十万円
土木費…道路維持費三百二十五万三千円、道路新設改良費一千四百一十一万七千円、町営住宅建設費二千三百九十六万六千円(第一種十二戸、第二種十四戸)
消防費…小型動力ポンプ購入費五十三万円、防火貯水槽新設費六

十六万円、警鐘台(喜良市)新設費七十六万五千元
教育費…学校敷地(蒔田小)購入費九十五万円、体育協会助成金二十万円、青年団体助成金十万円、婦人団体助成金十万円、公民館敷地購入費六百万円、プール(南中)設置費八百六十五万円
災害復旧費…流木巻橋百五十七万三千円、相ノ山頭首工百九十三万五千元

(歳入)

款	金額	構成比
町税	76,226	18.58
自動車取得税	6,218	1.52
地方交付税	209,162	51.01
交通安全対策金	181	0.04
特別交付金	5,196	1.27
分担料	7,876	1.92
国庫支出金	38,414	9.37
県支出金	16,363	3.99
財産収入	1,547	0.38
寄附収入	626	0.15
諸町債	8,156	1.99
計	410,065	100

(歳出)

款	金額	構成比
議給民衛	14,049	3.43
給民衛	143,754	35.06
衛生	35,043	8.55
労働	8,415	2.05
農業	128	0.03
林業	38,006	9.27
水産	10,242	2.49
土木	57,872	14.11
防衛	13,613	3.32
復旧	56,468	13.77
債費	3,566	0.87
出費	22,951	5.60
支備	3,781	0.92
計	410,065	100

◆今日、いうまでもなく、六月十日の時の記念日です。この日は、今から約千三百年前、天智天皇の十年(六七一年)四月二十五日、初めて漏刻(水時計)を使い時を知らせたという古事にちなんだもので、その日を生活改善同盟会の発意により、太陽暦に直し、大正九年に定めたものだそうです。◆時の記念日は、実施されてからもう五十年になります。しかしながら、まだまだ、津軽時間があるようです。

季節の話題

◆こんな話が、今年の一月、朝日新聞にのっていました。沖繩のある高校で「三べん続けて遅刻したら逆立ちさせる……」と先生が言った、逆立ちの練習をはじめた女生徒がいたそうです。本末を倒だと、この文章は結んでありました。これを読んでふきだしたかたもあつたでしょう。

出すな山火事 おらが山から

- 今は空気がかわき、山火事のいちばん起りやすいときです。
- 何気なく捨てた「タバコ」「マッチ」の火が、大火を招きます。
- 歩きながらの「タバコ」は、やめましょう。
- 「タバコ」の吸からは野、山に捨てないで持って帰きましょう。
- 乾燥や風の強い日は、火入れを止めましょう。
- 火入れをする時は、市町村長の許可をとりましょう。
- 野山ではたき火はしないようにしましょう。
- 「タバコ」は川や危険でないところで吸いましょう。
- たしかに消えたか、もう一度たしかめましょう。

山火事は、まさかと思うゆたさんから

林野庁、消防庁 共一啓

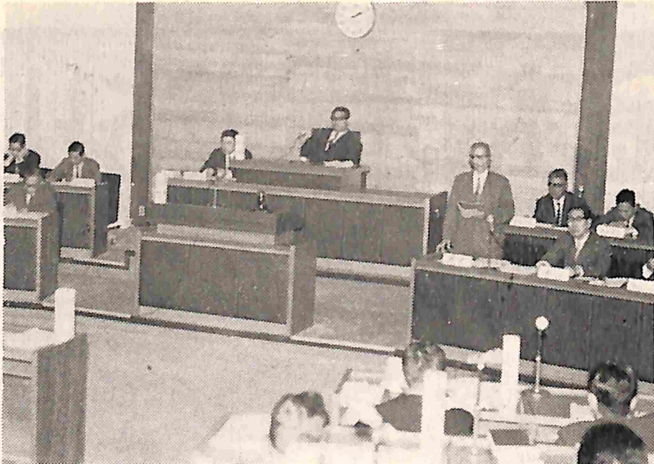
北五地区山火事防止対策協議会
金木町・五所川原市
金木 菅 林 署

第五十五定例町議会

特別職の報酬引き上げ などを決める

第五十五回金木町議会定例会は五月六日招集され、昭和四十五年度一般会計予算など六議案を可決し十日閉会しました。

- ①昭和四十五年一般会計予算の件（一面に紹介のとおり）
- ②昭和四十五年国民健康保険特



〔提案理由説明の三上町長〕

- ③昭和四十五年国民健康保険特別会計（直診勘定）予算の件（予算総額一億二千四百二十五万九千円）
- ④昭和四十五年国民健康保険特
- ⑤特別職の職員給与に関する条例中一部を改正する条例の件（町長月額現行十二万円を十三万円、助役九万円を十万円、収入役八万円を九万円、固定資産評価員六万円を七万円にそれぞれ引き上げ）
- ⑥金木町報酬及び費用弁償に関する条例中一部を改正する条例の件（議長月額現行二万三千円を二万八千円、副議長二万一千円を二万六千円、議員二万円を二万五千円、国民健康保険運営委員会委員長年額三万円を四万円、委員二万円を三万円にそれぞれ引き上げ）
- ⑦専決処分報告の件（昭和四十四年度一般会計補正予算総額四億五千二百三十八万四千円



昭和四十五年の 行政協力委員

今年度の行政協力委員はつきの方々をお願いすることになりましたので、よろしくお願ひします。

- 金木** 本町 阿部良治 栄
 徳田健三郎 南新町 山崎昭二
 上山道町 田中国雄 中山道町
 竹内義宣 下山道町 山田逸太郎
 美晴町 須崎寅雄 昭和町 角田
 金男 旭ヶ丘団地 北沢清一 大
 東ヶ丘 増田安雄 神明町一区
 阿部久治 神明町二区 石戸谷欣
 一 朝日町一区 中村健男 朝日
 町二区 中谷昭天 北新町 秋谷
 長助 小川町一区 原直次郎 小
 川町二区 新岡功一 米町 津島
 千代雄 川端町 津島新五左エ門
 寺町 楠美留三郎 芦野町 工藤
 良昭 浦町 成田平太郎 新富町
 若松町一 若松町一 若松町
 三区 沢田長六 芦野団地 安藤
 誠 見崎町 下山与一郎 三軒町
 下沢部 白川幸雄 上蒔田 田中
 重隆 下蒔田 白川理一 神原
- 嘉瀬** 雲雀野団地 木立久
 二 東町 鳴海豊吉
 上小栗崎 中谷秀五郎 中小栗崎
 神島忠雄 下小栗崎 秋元文太
 郎 上派立 平井兼四郎 中派立
 吉崎永作 下派立 鎌田善七
 上新町 鎌田定雄 下新町 油谷
 忠造 上昭和町 山中哲男 下昭
 和町 沢田兼八 本町 原田堅造
 冷水 山中秀雄 車町 沢田誠
 一 畑中 成田善蔵 後町 沢田
 忠勝 上古町 木下無市 下古町
 鳴海彦一 新誠町 鎌田福辰
 新提町 鎌田福芳 上鍛冶町 沢
 田繁市 下鍛冶町 木村治一郎
 上中柏木 杉山金之丞 下中柏木
 原田正信
- 喜良市** 西岩見町 元石繁正
 東岩見町 西村隆
 林町 桑田清三郎 野崎 棟方武
 四郎 北本町 工藤武男 下派立
 伊丸岡政美 上派立 大橋藤太
 郎 南本町 今健三 上柏木町
 古川千代勝 下柏木町 古川嘉之
 助 下町 今徳盛 川端町 古川
 富士五郎 双葉町 今英夫

会長に工藤武男氏 行政協力常任委員

四月二十七日役場で総会を開き次のとおり役員を決めました。

- ▽会長 工藤武男（喜良市）
- ▽副会長 太田徹（金木） 鳴海彦一（嘉瀬） 伊丸岡政美（喜良市）
- ▽常任委員 山崎昭二、山田逸太郎、中村健男、津島喜之、北沢清一、前田豊満、竹内正友、中谷敏雄、中谷孫一（以上金木） 中谷秀五郎、鎌田善七、山中哲男、木下無市、鎌田福芳、木村治一郎、杉山金之丞（以上嘉瀬） 元石繁正、棟方武四郎、大橋藤太郎、今徳盛（以上喜良市）

自衛官相談員も

行政協力委員会の総会（四月二十七日）のあと、金木町自衛官相談員に、行政協力常任委員二十四名のほか、山中龍一（父兄会長）、嘉瀬 高橋一三氏（予備自衛官）を委嘱し、役員を次のとおりきめました。

- 会長 工藤武男（喜良市）
- 副会長 山中龍一（嘉瀬） 高橋一三（金木）

金木町の地籍調査

今年から八カ年計画で

地籍調査とは「国土の開発及び利用の高度化を図り、あわせて地籍を明確にするため、国土の実態を科学的に総合的に調査する」ことを目的として、昭和二十六年に制定された「国土調査法」に基づき事業の一つで、一筆一筆の土地について、その所有者、地番、地目の調査を行ない、境界および面積の測量をして、その結果を地図と簿冊（土地台帳）にまとめる仕事です。

ところで、現在の地籍はどのようになっているかといえますと、役場あるいは登記所にある土地台帳と字切図（あざきりず）によって明らかになっていますが、これは明治時代の中頃に税金をとりたてるために作られたもので、残念ながら不正確で本来の役割を十分果たしていない実情です。当時の測量技術の幼稚さと時代の移り変わりのため、現状とは全く合わないものとなっており、境界紛争のもととなっている例も数多く見られます。

こういうことではいけないというところで、進んだ測量技術で皆さんの大切な土地を測量し、現状にあった正確な地図や台帳をつくるのが地籍調査です。

金木町では、今年から八カ年計画で国有林を除く五千三百七十九ヘクタールの地籍を調査することになっています。今年度は、予算百九十二万円

嘉瀬雲雀野と駒留の水田三百五十ヘクタールを調査します。

調査に要する経費の十二分の十は補助金で、もちろん、皆さんの負担金はありません。

この調査は、一筆ごとに平板測量を行なうわけですが、測量の量になるのは、一筆地調査といつて、一筆ごとに、筆界を明らかにするため杭を打つ仕事があります。この仕事は、役場の担当者が関係者の立会いのもとに行なうことになっています。

今年度の調査の関係者に対しては、今後、チラシ、説明会等で、地籍調査の内容をくわしくお知らせすることになっています。

子ども会リーダー研修会

61名が参加

五月十六日午前九時 役場前を出発して私たち六十一名は一路、雲谷高原、県立青年の家へ向かいました。

金中生二十五名、南中生二十六名、指導員十名が五ホム・ルームを編成し、金木町における地域子ども会を充実するためにジュニアリーダーとしての知識と技能の習得をはかり、中心リーダーの養成により常時活動が実現できるように努めるために、二泊三日の研修会を開始したのは午前十一時半でした。

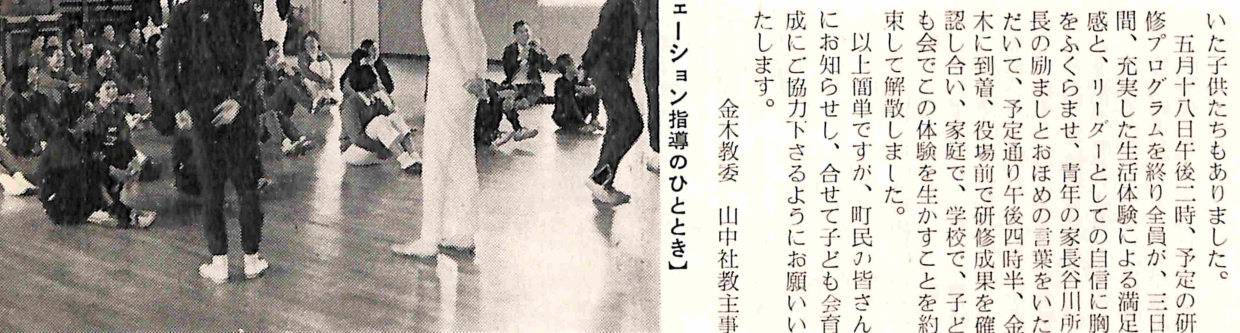
花田社教主事の一時間に及ぶ生活オリエンテーションで、子どもたちも指導員も青年の家の生活のきびしさに不安と闘志をわきたたせ、研修室は緊張感があふれま

それから三日間、朝六時から夜六時まで、ぎっしり組まれた研修プログラムをすべて五分前行動で号令もベルも強制もない生活の中で体験したわけですが、参加した子どもたちは、全員が責任を分担し、自分たできることはすすんでサービスして実によく頑張りました。

始めは金中と南中、男生徒と女生徒の相互関係に抵抗もあったようでしたが、二日目の夜の行事、キャンドルサービス

の頃には、私達はみんな仲間だ友達だ、いや兄弟だ、力を合わせて協力しよう。一本の小さなロソク

の火も集まれば、こんなに明るくなるのだ。私は金木に帰ったら一本のロソクの火になるうと体を通して感じました。又、金木の町では私たちのために沢山のお金を出してこの研修会を持ってくれたのだから町に帰ったら子ども会



〔レクリエーション指導のひととき〕

いた子供たちもありました。五月十八日午後二時、予定の研修プログラムを終り全員が、三日間、充実した生活体験による満足感と、リーダーとしての自信に胸をふくらませ、青年の家長谷川所長の励ましとおほめの言葉をいた

国民
額引き上げる
七月から保険料も
が次のように改正になります。

〔年金額〕は
△老齢年金は月五、〇〇〇円から
八、〇〇〇円に（二十五年間保険料を納めたとき）
△障害年金が月五、〇〇〇円から
八、〇〇〇円に（重い障害は月
六、〇〇〇円から一〇、〇〇〇
円に）
△母子（準母子）年金は、月四、
六〇〇円から七、六〇〇円に
△遺児年金は月二、五〇〇円から
七、六〇〇円にそれぞれ引き上
げられます。

この年金額の引き上げは、現在
すでに受給している人についても
引き上げになりますので、八月の
支払分から増額されることになり
ます。
また、年金額の引き上げと同時に
保険料額も改訂されます。

〔保険料額〕は
これまで三十五才を境にして、
二五〇円と三〇〇円の二種類に区
別されていましたが、七月から年
齢に関係なく全部の人が四五〇円
になります。
七月以降の保険料を納めるとき
は、納めまちがいのないようにお
願いします。

写真ニュース

71才の木村さん
きれいな町づくりに奉仕

嘉瀬八幡宮境内で、黙々と草とりをしている元気そうな、ひとりの老人がいます。
「こくろうさまです」と声をかけたら頭の鉢巻をとり、ピョコンとおじぎをし眼をパチクリさせていました。
このひとは、嘉瀬下鍛冶町の木村米八(71才)さんで、6年前から、毎年、春から夏にかけて1日も欠かさず、嘉瀬八幡宮、薬師堂、嘉瀬観音堂、忠魂碑附近の草取りや掃除をし、冬は冬で、毎朝町内の雪かきをして道をつけ、嘉瀬部落民から感謝されており、町当局では、最近この草取りを知り近く木村さんを表彰する予定になっています。



【写真=清掃中の木村さん】



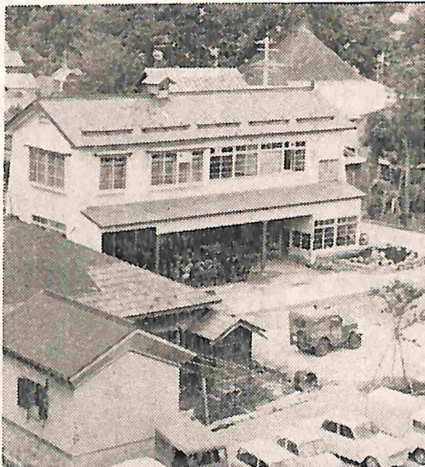
【写真=受付の案内嬢】

なんでも案内嬢へ

昨年11月末に完成した役場の新庁舎に入ってみたことがありますか？
トコトコ2階まであがってきて「税金を納めるところは？」というカタの多いこと……。
ところで、この不便を解消するため、玄関の真正面ツキ当りの税務課に、受付案内係として、女子職員をおくことにしました。「なんでも遠慮なくおたづねください」とは案内嬢の弁です。

消防署へ昇格の屯所完成

広域消防めざして、昨年、役場新庁舎完成をきっかけに、旧庁舎の一部を消防屯所に転用することをきめ、この春から、移転増改築工事をすすめてきましたが、去る6月2日に完成しました。



【写真=上中央は消防屯所】

写真でみるとおり、りっぱな建物ですが、この屯所は、将来、消防署として使用するための条件が備わっており木造モルタル塗装の2階建てのもの。
1階は、自動車ポンプの車庫、通信室待機室、2階は、事務室3、仮眠室で、総面積は264平方(約80坪)あり、そのほか職員が奉仕しての池を造るなど、しぶい趣きのある消防署となりそうです。

税などの収納機関に

信用 金庫 金木支店も指定

町の税金や保育所の使用料などを納めるところとして、五月二十一日から、津軽信用金庫金木支店(西村徳雄支店長)を指定しました。
今までは、青森銀行および弘前相互銀行の両金木支店のみで取り扱っていましたが、津軽信用金庫金木支店も加わったので、町民からは、便利(べんり)になったと

戸籍の窓口

五月届出分

- ご誕生
- ☆芳賀武勝 (武美長男) 若松町
 - ☆長尾清子 (進 長女) 本町
 - ☆秋元将克 (金剛長男) 朝日町
 - ☆白川千栄子 (照明長女) 沢部
 - ☆原田貴雪 (龍蔵長男) 若松町
 - ☆外崎啓互 (忠 2男) 美晴町
 - ☆西村信哉 (義雄長男) 芦野町
 - ☆吉田正人 (進 長男) 沢部
 - ☆青山千帆 (栄 長女) 若松町
 - ☆白川秀作 (満郎2男) 朝日町
 - ☆工藤光男 (弥一郎2男) 藤枝
 - ☆浅利勝博 (勝義長男) 湯の川
 - ☆藤井重須香 (誠 長女) 若松町
 - ☆夏坂良成 (繁孝長男) 神明町
 - ☆近村正人 (正義長男) 昭和町
 - ☆野宮早苗 (茂 長女) 米町
 - ☆田中 郁 (敬悟2女) 新富町
 - ☆工藤八重子 (武雄長女) 沢部
 - ☆加賀谷みちよ(正三長女) 小川町
 - ☆野宮真理子(徳二3女) 菅野町
 - ☆外崎美由樹(陸奥雄長女) 若松町
 - ☆佐野勝也 (勝 長男) 蒔田
 - ☆荒岡泰子 (孝一2女) 山道町
 - ☆吉崎美保子(鉄治長女) 下沼和町
 - ☆吉崎裕起 (一洋長男) 上沼和町
 - ☆杉山鶴子 (栄和長女) 中柏木
- お悔み
- ☆外崎篤次郎 (六五) 沢部
 - ☆小山内茂作 (七八) 三軒町
 - ☆蛸島茂や (七七) 下派立
 - ☆田中 伍 (六一) 若松町
 - ☆伊藤かね (六八) 上小栗崎
 - ☆秋元元八 (七五) 上小栗崎
 - ☆其田豊勝 (五一) 川倉
 - ☆横山要助 (八五) 林町
 - ☆工藤保雄 (七一) 上沼和町
 - ☆尾野フミ (三五) 双葉町
 - ☆鎌田ハナ (六二) 上小栗崎
 - ☆小松長美 (三三) 新誠町
 - ☆長村ヤ(四七) 新富町
 - ★桜庭源内(六二) 更生部落
- 家庭におられる 看護婦さんへ
- 看護婦や准看護婦が足りなくてまわっているのを、県庁では「有資格者で家庭におられる方は、次のところにお知らせください」と呼びかけています。
なお、くわしいことは金木町役場民生課に問いあわせてください郵便無料のハガキがあります。

- 喜ばれています。
- このほか、役場出納室、税務課嘉瀬支所、喜良市支所でも取り扱っています。(註)正式の名称は次のとおりです。
- ①金木町指定金融機関
青森銀行金木支店
弘前相互銀行金木支店
津軽信用金庫金木支店
- ☆秋元 正 (雄逸長男) 上古町
- ☆吉崎栄利子(薫 2女) 冷水
- ☆吉崎節花(鉄郎長女) 上沼和町
- ☆小野知華子(正弘長女) 下派立
- ☆斎藤純子(健一2女) 下沼和町
- ☆小野尚仁(俊継2男) 下派立
- ☆三上優子(敬英2女) 下派立
- ☆木村文俊(行雄長男) 中柏木
- ☆山中博順(国広長男) 車町
- ☆小野正介(正文長男) 下派立
- ☆今 大介(悦生長男) 南本町
- ☆大橋一範(正志3男) 下派立
- ☆木田利架子(昭二長女) 東岩見町
- ☆桑田久美子(昭夫長女) 双葉町
- ☆伊丸岡忍(義正長男) 川端町
- ☆棟方鉄代(清一長女) 野崎
- ☆古川博英(満天長男) 下町
- ☆保坂智恵子(保 2女) 西岩見町